

第2 長期的な目標を実現するために

地球温暖化やオゾン層破壊などの地球環境問題から、廃棄物問題や生活排水による水質汚濁などの身近な問題に至るまで、今日の環境問題は私たちの生活様式や社会経済システムと深く関わっています。

例えば、現在の私たちの消費生活の豊かさは、かなりの部分が海外に依存していますが、化石燃料や食料などの消費財を一方的に輸出あるいは輸入することは、地球環境の物質収支バランスを破壊し、土壌などの地球環境を悪化させるとの指摘もなされています。

人類がこれからも存続していくためには、地球の資源と環境が有限であることを前提として、持続的な活動が続けられるようにしていく必要があります。

言いかえれば、第1で掲げた長期的な目標を達成するためには、生活の利便性や物質的な豊かさの追求に重きを置くこれまでの考え方を見直すことにより、大量生産、大量消費と大量廃棄によって成立している現在の社会経済システムを少しずつでも変えていく努力が求められています。

しかしながら、これらの問題が社会のあり方そのものにかかっていると力説してみても、日常生活のなかで、自らは何をなすべきかあるいは自らに何ができるかといったことについて、多くの人々にとって具体的には見えてこないというのが実情です。

そこで、第4部以降では、長期的な目標達成へのステップとして、10年後を目途にした施策を展開するとともに、具体的目標を掲げた重点プロジェクトに取り組むことにより、さまざまな環境問題の解決をめざします。